

# ふじしろ政夫の決意

## ——子どもたちが希望を持てる社会に——



失われた 20 年、30 年から脱却できず、ポピュリズム・フェイク政治と、1%の為の経済で将来の展望が開けていません。でも、子どもたちが未来にむけて希望を持てる社会にしていくのが私たちの責任です。県議会の中で、市民運動の場で皆様と一緒に実現していきたい思いです。

おじいちゃん、おばあちゃんが一人暮らしでも、病気になったら訪問診療・訪問看護をしてもらえる。介護もケアも見守りも“お互いさまの福祉“で実現されている地域コミュニティーの”地域包括ケアシステム“を創っていきましょう。高齢者にも、障がい者にも、子どもにも一人一人に寄り添う”地域ケア“の街づくりです。

格差と貧困を解決する“所得の再分配”は地方自治体での現物給付サービス（医療・教育・福祉・社会保障）でこそ出来ること。分かち合いの経済で“普遍的福祉”が実現出来る社会を創っていくことが 21 世紀の新しい方向性です。

教育は公の仕事。大学卒業時に 300 万円の借金（貸付奨学金）を抱えて社会にスタートすることになる奨学金制度はおかしいです。給付型奨学金制度を地方からもつくっていきましょう。

生物多様性の豊かな自然環境の下での生活が人間にとって大切です。並木や斜面林のある緑豊かな街を造っていくこと、毎日歩く県道・市道の歩道整備をする必要があります。二和川の洪水対策・大柏川第二調節池の早期完成で“水を治め”ましょう。

21 世紀のエネルギーは、地域分散でなければならないことは、3・11 福島原発事故でも明らかに。先般の北海道地震での全道停電からも一極集中の欠点が現れました。再生可能エネルギー（太陽光・風力・バイオ等）&スマートシティで地域分散エネルギー社会・産業を創っていきましょう。

NLP（下総基地での米艦載機夜間離着陸訓練）もオスプレイも絶対反対と声をあげて平和主義を希求する千葉県にしていきたいと思います。

あらゆる領域で、民主主義・市民自治、そして平和主義を実現していくことで“子どもたちが希望を持てる社会”にしていくことが出来ます。

ふじしろ政夫は全力を尽くして頑張ります。



## ふじしろ県議 ガンバレ!

ふじしろさんとの付き合いは 15 年になりますが、いつも変らぬ穏やかで明るい人柄と、バイタリティに魅了されています。何か問題があると、すぐさま現場に駆け付けて状況を把握し、いろいろデータを集め研究して各方面に働きかける姿勢は終始一貫変わることがありません。県政・市政について提言し、働きかけて実現しても、それを誇示するという事のあまりない人です。支持者の中には、歯がゆい思いをしている人もあるようですが、名利に疎いというの、政治家の資質としては大切なことではないかと思えます。

私たちの日常生活に直結する地方自治の活性化・発展の為になくてはならない人物だと確信し、ますますの活躍を期待しております。

「ふじしろ政夫と共に県政を変える会」会長 渡邊俊彦